

# TOYBOX

Hello!Project Fan Magazine

2005.7  
vol.11

ハロプロ研究  
ファンとオタクの境界線

シャッフルユニットが帰ってきた!  
セクシーオトナジャンつていいじゃん!

辻希美さんについて  
気は優しくて力持ち

連載マンガ vol.11  
コミックハロプロ

よし! 今月も可愛い!!

# ファンとオタクの境界線

文／flight



▲オタクの聖地・秋葉原の一角



►モーフタはこんな感じ

昨年秋に発売された書籍は、ベストセラーになり、テレビドラマ、映画のヒットで現在世間の評判なのが「電車男」。秋葉系のオタクの純情恋物語を描いた作品で……って説明しなくともみなさんが存じてしまふ。映画やテレビではやや誇張され描かれ、オタクのイメージをさらに悪くしているのが残念ですが、「電車男」のヒットで世間の目は「オタク」に向かっているというのは少なからずあります。今や「オタク」市場規模はデジタルカメラの国内市場規模を上回る、約2900億円に達するという報告もあります。

さて、そんなオタク市場のど真ん中にいるのが僕たち（笑）。アイドルオタクと呼ばれる人たちは全国に80万人、市場規模が

年間六百億億円らしい。へーそんなにいつているのか？と思う人もいれば、それだけ？って思う人もいるだろう。

ところで、モーニング娘。のファンのことを、なぜか「モーフタ」と呼ぶ。最近は、ハロープロジェクトの規模が大きくなつてきただので、「ハロヲタ」なんて言い方をして、言葉の示す範囲を広げる傾向にある。「ヲタ」とは「オタク」が語源であるが、なぜ「オ

から「ヲ」という表記になつたのかは謎である。（この由来を知っている方いらっしゃいましたら、ご一報ください）  
「モーオタ」ではなく「モーフタ」そこにヲタのささやかな抵抗、プライドのようなものを感じるのは僕だけでしょうか？

しかしながら、語源である「オタク」という語句を考えると、あまりいい印象でないことは事実。

オタク：俗に、特定の分野・物事を好み、関連品または関連情報の収集を積極的に行う人。狭義には、アニメーション・ビデオゲーム・アイドルなどのような、やや虚構性の高い世界観を好む人をさす。  
(ディイリー新語辞典より)

サッカー、野球、バスケットなどのスポーツのファン、趣味が食べ歩きであちこちの飲食店に行っている人、競馬、麻雀、パチンコなどのギャンブルが好きな人、山登り、キャンプなどのアウトドアが好きな人、音楽、映画などを鑑賞するのが好きな人、盆栽が好きな人など、ある特定の分野を好み、その分野に関する人よりも多くの知識を

持つている人は、みんな「オタク」である。しかし、一般的には右記の辞書からの引用にもあるとおり、「虚構性の高い世界観を好む人」のことを指すようです。

サッカーファンが応援で遠征することだと、チームのユニフォーム着ることはいたって普通のことだし、そのことを恥ずかしいことだと捉え、家族や友人に隠すなんてサッカーファンは少ない。しかし、「虚構性の高い世界観を好む人」はその世界観を隠そとする人が多いようです。

そういつた「虚構性の高い世界観を好む人」は総じて、人とのコミュニケーションをとるのが苦手であり、何事も深く知りたいという欲求を持つ理系人間が多く、そのことに没頭してしまうあまり他のことをほつたらかしにする人が多い。その結果「オタク」は、「暗い」「汚い」「臭い」の3Kとして、一般的に見られ認知されてしまうようになってしまった。

モーラタ、○○ヲタ（○○にはメンバーの名前がはいる）と言つた表現を自分たちで使うことは、自分たちを卑下し、自分たちのイメージを自分たちで落とし、ヲタでない人たちとの壁を自分たちで作つてしまっているように感じる。だから、僕は「ヲタ」という語句を使わず、最近は「ファン」という語句を意識的に使うようにしている。

では一般人とファン、ファンとヲタとの境界線はどこにあるのか？昔よく言われた

のが、五期以降のメンバーの名前を一人でも言えたらファン、五期以降のメンバーの顔と名前が全員一致するようならヲタ。辻加護は知つているけれど、どつちが辻ちゃんで、どつちが加護ちゃんのかわからぬ人や、なつちやごつちん、辻加護が未だに娘。の一員だと思っている人は一般人。これが境界線。少しわかりにくいかな。

では今から質問をするので、自分に当てはまるかどうか○と×で答えてみてください。一つでも当てはまるようならあなたは一人前の立派なヲタです。

ワインやシャネラ、つまりシャネルヲタ。みんな何かしらのヲタなんですよ。  
タ、泉ピン子さんや小柳ルミ子さんは俗に言うシャネラ、つまりシャネルヲタ。み

ワインやシャネルはかつこいい？  
アニメやアイドルはかつこわるい？

・携帯のメアドに、推しの名前や誕生日などの推しにまつわる数字を入れている。723（なつみ）、510（後藤）、22（辻）、145（矢口）、149（辻）、148（加護）なども含む。

どこに問題があるかつて、アニメやアイドルに対してあるのではなく、そのファンの人たち自身だと考えます。もつと自信を持つて、もつと明るく、オープンにヲタしようぜ！

・雑誌の表紙がハロプロメンバーであつたのを見つけて、普段買わない雑誌を買つたことがある。  
・ハロモニ。見たことがある  
・あなたのPCにハローの画像、動画、音楽が保存してある  
・ハロショで一枚でも写真を買ったことがある  
・ゴマキでなく、ごつちんだ！  
・TOYBOXを読んでいる（爆）

今日、これを読んだそのあなた！まだ家族や友人にヲタバレしていないなら、ヲタバレすることがその第一歩ですよ。

いくつ当てはまりました？？  
この記事を読んでいるぐらいだから、みなさん立派なヲタです。



今年のシャッフルは少人数。「エレジーズ」「セクシーオトナジャン」「プリプリピンク」の3ユニットが1枚のシングルになって発売中。シングルLVも買いましょう！



# 『セクシーオトナジャン』 ってかなりいいじゃん！

文／ゆっこ

2005年、夏。2年振りに夏のお楽しみ「シャッフルユニット」が帰ってきました。今年のシャッフルはハロプロメンバー総勢45人からフレッシュ、実力派、アダルトをコンセプトに11人を選抜という今までの全員参加とは異なった新しい試みです。「セクシーオトナジャン」「エレジーズ」「プリプリピンク」。この3つのユニットがあります。それぞれ個性的なメンバーがそろつた今年のシャッフル。私の推し娘のミキティ率いる「セクシーオトナジャン」の魅力について語りたいと思います。

メンバーはモーニング娘。の藤本美貴、Berryz工房の夏焼雅と村上愛。こういった形は以前にも「ああ！」「Z Y X」もやっていますよね。モー娘。のメンバー1人とハロプロキッズで組む形式。私としては普段人数が多いモー娘。でなかなかミキティが画面に登場しないなんてこともあるんで、それと比べ曲もメインで歌つていいの、ダンスもセンターと良いことずくしなわけです。

さて今回の「オンナ、哀しい、オトナ」はボサノバティスト満載の大人感&ロマンティックな夜の海岸をイメージして作られた曲だそうで、初めて聴いたときはまず「大人っぽいな」と思いました。もう1回聴くと「難しそうな曲だな」と思いました。まづいきなり低音から始まりますし、ゆっこりとした曲調です。「音程をとるのが難しそうだな」と思いましたが、難しいところはほぼミキティが歌つていてるという状況なので曲も崩れることなく、雅ちゃんと愛ちゃんの高く甘い声が上手く絡み合っても良い出来だと思いました。

ミキティ自身も「すゞく難しい曲だったけど、頑張って大人っぽく歌いました」とあるように苦労した様子です。やはり私はミキティのソロ時代の「ボーカーフレンド」の練習風景をハロモニで見て、難しい曲を頑張って練習し上手に歌つているミキティの姿を思い出し「ミキティにだからこそつんくPも難しい曲を歌わせているのではないか」と思っています。私はミキティにはこれだけ難しい曲も歌いこなせるのだと思います。個人的にこの曲をとても気に入っていて「真夏の空に燃え上がるだけ」「これからも私どうすればいいの」の後半声が高音になるところがとてもせつない感じがするし、ミキティの歌声の魅力が全開でとてもお気に入りですw。私も頑張って練習してみようかな」と思います（笑）

つんくPが「今回のユニットの目玉」と言いつつ切つていてるセクシーオトナジャン。そして「このチームは今後もあつても良いよな」とも言つっていました。過去にあつたセクシーオトナジャンをハロプロの「セクシーオトナジャン」が「ロマンス」ですね。どちらも残念ながら今のところ1枚しか出でないし、今後出そうな気配もないですね。そこでセクシーオトナジャンをハロプロのセクシーユニット代表となつて欲しいわけです。そしてこの3人に大いに期待しようと思います。夏の1枚限りの「シャッフルユニット」が2枚目を出す日は果たしてくるんでしょうか？

# “気は優しくて力持ち”

文／お散歩

だつた。（覚えています？）

もう○○が誰だか分かりましたよね？6月17日に18歳になった辻希美さんです。もう18歳です。彼女の魅力は一言で表現するのは難しいですが、弾けるような無邪気な性格にあるかと思います。簡単に言つてしまえば子供なんですね。ハロモニの対決で食べ物が出るとなると注目すべきは彼女です！いつだつて真剣そのもの。残念ながら勝負に負けてしまい、メンバーがおいしそうに食べるところを見て何度も悔し涙を流しました。そんな純粋なところは今だつてさほど変わっていませんよね？彼女を応援する多くの方は18歳と聞いて、彼女にこれからこんな女性になつて欲しいという気持ちよりも、子供っぽいところを残したままでいて欲しい。このまでいて欲しい。なんて気持ちがあるんじやないでしょ？私、個人の願望かもせんが……

○○は基本的に温かい人なんです。文字通り、体温が高いって意味で。○○はいい意味で大雑把で、そこも好きです。あとは……なんか面白い。うん、面白い。（Wエッセイより）

○○って誰だか分かります？モーニング娘。に加入したのが当時12歳。小学校を卒業したばかりの子供。移動するときはいつも誰かと腕を組んで歩く甘えん坊。そんな第一印象があつた。番組に出演してもどこか大人びた雰囲気で受け答えをするあいぽんに比べるとその幼さが目だつてしまふがなかつた。（気がする）

例えるなら、これといつて勉強ができるわけではなく、おしゃべりの中心でもない。普段の学校生活では目立たない存在だが、体育祭なんかで突如その才能を発揮させるようなタイプ。みんなに注目されると張り切つて頑張つちやうよなお調子者。そんな子クラスに一人くらいいたよね？事実、彼女はHEY×3の特番バレー、ボール対決でサービスエースを立て続け決めまくり、他では見ることができなかつた大活躍

だつた。（覚えています？）もう○○が誰だか分かりましたよね？6月17日に18歳になった辻希美さんです。もう18歳です。彼女の魅力は一言で表現するのは難しいですが、弾けるような無邪気な性格にあるかと思います。簡単に言つてしまえば子供なんですね。ハロモニの対決で食べ物が出るとなると注目すべきは彼女です！いつだつて真剣そのもの。残念ながら勝負に負けてしまい、メンバーがおいしそうに食べるところを見て何度も悔し涙を流しました。そんな純粋なところは今だつてさほど変わっていませんよね？彼女を応援する多くの方は18歳と聞いて、彼女にこれからこんな女性になつて欲しいという気持ちよりも、子供っぽいところを残したままでいて欲しい。このまでいて欲しい。なんて気持ちがあるんじやないでしょ？私、個人の願望かもせんが……

彼女を見ていると、大人達が忘れてしまつているなにか大事な気持ちを思い出させてくれるような気がします。（言い過ぎですかね）

そんな彼女ですが、娘。加入当初から人一倍力が強くて、最初に腕相撲をやつた時は体格もぜんぜん違うかおりんと勝負したにもかかわらず、大方の予想を裏切る大勝利。正直びっくりしました。あの小さな体に秘められたパワーは恐るべきものがあります。つい先日のハロモニで握力を測つたときも自分の力の強さに驚いていました。力の加減を知らないというか、何というの

反面、すごく甘え上手でメンバー内でもメンバの加入で自分の年下キャラが取られるのではないか？と心配もしていたみたいですが、5期はののとあいぽんほど子供ではなかつたんですね。結局2人のポジショントは変わらないままでした。そんな彼女も彼女なりに周囲に気を配ることができる娘なんですよ。北海道ロケに行つた時に回りにいたスタッフさんにも気を配る姿が目撃されています。モーニング娘。には良いお手本となる先輩がいますから、そういう環境で学ぶことも多かつたことでしょう。子供扱いされたくない！そんな気持ちもどっこで芽生えているはずです。

彼女がリーダーを務めるダブルユースの活動も無事に1周年を迎えるました。娘。加入当時からライバル視していたあいぽんがたんぽぽに加入し、すごく悔しかつたと振り返る彼女。その気持ちをどこにぶつけていいのか分からなかつたんでしょう。それでも自分なりに考えた結果、もしかしたら体が勝手にそうさせたのかもしれません。彼女はたんぽぽの振り付けを全部覚えたそうです。それだけの向上心があればこれからもどんどん成長していくはずです。もちろんあいぽんという最良の相方がいるのですから、これからもお互いに高めあうことで私達を楽しませてくれるとしてよ。リーダーの辻希美とサブリーダーの加護亜依、一人合わせてダブルユースです。このフレーズをもつともつと世に知らしめるのだ！



## ☆記事募集のご案内☆

現在、「TOYBOX」では記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し、どなたでも歓迎いたします。

今回も引き続き編集部でテーマを設定いたしました。次号が出る頃には恒例のハロー！プロジェクトコンサートも終了しています。前号の記事にもありましたが、カラオケコンサート化が著しいようですね。

そこで次号分のテーマは

#### ・コンサートの在り方について

です。もちろん従来どおりご自分でテーマを設定して下さっても結構です。文字数は1ページあたり約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数・サイズによって変動しますのであくまでも目安としてお考え下さい。

文章は「TOYBOX」サイト内 "mail" ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入して下さい。編集の都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

次号のテーマにもしましたが、“カラオケコンサート”ってみなさんどうですか？僕はまあこんなのもアリかな～くらいに思っているのですが、全く受け付けないという人もいるでしょう。読者の方の中にはコンサートに行ったことがないという人もいるでしょうが、みなさんからコンサートに関する考えを募集したいと思います。よろしくお願ひします。

## 執筆者紹介

flight	亀井絵里推し。『えりりんどっこむ』を運営中。今回の表紙デザインも担当
ゆっこ	藤本美貴推し。『時は六期なり！』の副管理人
お散歩	ブログ『こだわりマロンメロン』を運営中。
カゴカゴ	加護亜依推し。『comicKAGO』を運営中。マンガ担当
ハイマン・ロス	辻希美推し。『ののすいーと』を運営中。デザイン担当